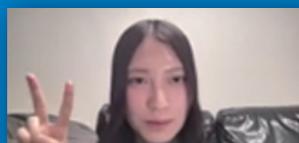
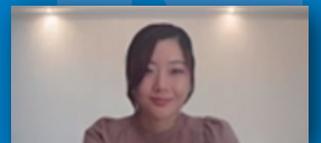


I♡SHIN

令和6年度

しんじゅく若者Web会議 実施結果報告書



目次

I 会議の概要	2
1 会議の目的	2
2 会議の概要	2
3 募集方法	2
4 応募方法	2
5 参加者の属性	3
II 当日のスケジュール	3
III 会議の進め方	4
IV 区からのテーマ説明	5
V 意見交換	6
新宿のおすすめ・お気に入り・思い出のスポット	6
新宿のすきなところ・嫌いなところ	6
あなたはどんなまちに住んでみたい？憧れのまちってどこ？	12
おじい・おばあになっても住み続けたい！魅力ある新宿区にするために「あったらいいな、こんなもの」	15
行政に期待すること	15
会議のまとめ	23
VI 参加者アンケート結果	26

I 会議の概要

1 会議の目的

この会議は、日頃、区政と関わりの少ない若者世代の意見やアイデアを施策に反映させるためのきっかけづくり、場づくりを目指すものである。若者の対象年齢は、18～29歳とした。

2 会議の概要

(1) テーマ

I ♥ Shinjuku City! ～新宿が「もっと」好きになる～

ねらい：新宿が将来にわたって住み続けたい魅力的なまちになるために、必要なもの・ことについて意見交換する。

(2) 概要

日 時：令和6年12月7日（土）10:00～12:00

実施方法：オンライン会議

参加者：若者18名

3 募集方法

広報新宿や区ホームページ、SNS等により周知したほか、無作為抽出の区民（1,000名）や、他の区事業に参加した区民にチラシを郵送し、募集した。

募集期間：10月15日（火）～10月31日（木）

4 応募方法

区ホームページからの電子申請による応募とした。

※応募多数のため抽選により参加者を決定した。

5 参加者の属性

(1) 年齢層別

18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	計
3	10	5	18

(2) 職業別

勤め人	自営業	主婦・主夫	学生	無職	その他	計
4	2	0	10	1	1	18

II 当日のスケジュール

時刻	時間 (分)	内容
10:00～10:10	10	開会、ガイダンス
10:10～10:15	5	テーマ説明 (新宿区の紹介)
10:15～11:50	95	意見交換
11:50～12:00	10	閉会、事務連絡

III 会議の進め方

テーマ説明（5分）

今回のテーマである「I♡Shinjuku City! ～新宿が『もっと』好きになる～」について意見交換するにあたり、新宿区の概要等について説明した。

意見交換（95分）

テーマについて参加者全員で意見交換をした。
各参加者が初めて発言する際は、簡単な自己紹介をしてからの発言とした。

区長からのコメント（5分）

意見交換全体のまとめとして、区長がコメントをした。

IV 区からのテーマ説明

新宿区の概要について、広聴担当副参事がパワーポイントを使って説明した。

テーマ説明の様子（パワーポイント資料抜粋）

令和6年度 しんじゅく若者Web会議
I ♥ Shinjuku City! ~新宿が『もっと』好きになる~

新宿区の紹介（抜粋版）
新宿区
新宿力 で前進する、
やすらぎとにぎわいのまち

しんじゅく若者Web会議の意見の主な反映
令和5年度 テーマ「新宿区のまちづくり（第三次実行計画素案）」
● 「多胎児家庭向けのタクシー券やヘルパー派遣の補助があるとありがたい」
▶ 多胎児家庭への移動支援事業開始
令和3年度 テーマ「新宿の情報発信2021～若い世代に届けたい～」
● 「公式HPにチャット機能を追加する」 ▶ AIチャットボットの導入
● 「通知があるプッシュ型の情報発信ツールを作る」 ▶ 公式LINE開始
● 「広報紙などに二次元コードを増やしオンラインとの融合を強化する」
▶ 広報新宿への二次元コード掲載を強化

これから新宿区に住み続けたいですか
ずっと住み続けたい 33%
できれば住み続けたい 54%
わからない 8%
できたら区外に転出したい 4%

「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」を合わせた居住意向が8割台半ばを超えている

区政にどのくらい関心がありますか
あまり関心がない 12%
非常に関心がある 42%
少し関心がある 46%

「非常に関心がある」「少し関心がある」を合わせた関心派が8割台半ばを超えている

新宿区の好きなおとこ（多くいただいたご意見を抜粋）
交通の便が良い
生活するのに便利（買い物、娯楽）
戸山公園、新宿御苑等の自然
大都会でありながら閑静な住宅街など、落ち着いた側面も持つ
多様性のある社会
福祉への支援

V 意見交換

以下の5つのテーマについて、参加者全員による意見交換を行った。

- 1 新宿のおすすめ・お気に入り・思い出のスポット
- 2 新宿のすきなところ・嫌いなところ
- 3 あなたはどんなまちに住んでみたい？憧れのまちってどこ？
- 4 おじい・おばあになっても住み続けたい！
魅力ある新宿区にするために「あったらいいな、こんなもの」
- 5 行政に期待すること

Q1 新宿のおすすめ・お気に入り・思い出のスポット

Q2 新宿のすきなところ・嫌いなところ

■本テーマで話し合われた意見の要約（以下の文章は生成 AI を利用して要約した。）

新宿区はアクセスの良さや多様な文化、緑豊かな公園が魅力的で、多くの人が集まる活気ある地域である。戸山公園や神楽坂など、個性豊かなスポットが多く、住みやすさが評価されている。しかし、ネズミやゴミ問題、騒音、路上喫煙などの衛生面や治安の改善が求められている。新宿駅周辺の複雑な構造や人の多さが不便と感じられている。

■意見交換（概要）

発言者1

これまで参加した新宿区のお祭りやイベントで一番思い出深いのは、ドイツのベルリンのミッテ区との青少年交流事業。ベルリンに行って、ミッテ区の中央区の文化・歴史を学び、そして新宿区でその彼ら、ドイツの青少年を迎え入れるということが非常に楽しく、勉強になった。

新宿区で好きなところは、歴史がありつつ、最新の流行も追いかけるハイブリッドな場所であるということ。

お気に入りスポットは、戸塚地区にある水稻荷神社と甘泉園公園。新宿区の歴史・文化を子どものとき歴博に行って調べるのが面白かった。

最近困るのはネズミ問題。新宿駅、高田馬場駅は汚いイメージを外部の人から抱か

れ、実際私もネズミを見かけたことがある。いろいろ要因はあると思うが、例えば夜道を歩いていると、飲食店によってはごみ出しの程度がバラバラで、もう少しごみ出しの工夫、改善がされると良い。

発言者 2

新宿区のお気に入りには2つあり、1つはおとめ山公園。自然豊かで、まちや家並みから少し離れて緑のきれいなところで、息抜きに良い。もう1つは、戸塚公園。高田馬場三丁目の中のほうにあり、震災が発生したときの防災のための設備がある。また、周りから見やすく、変に隠れたところがないので、安心して遊べる環境にある。

新宿区の嫌いなところは、いつも朝6時半ぐらいに歩いているが、ちょっとごみの臭いがきつい。でも、ゴミ収集車が意外と早く来てくれているのが良い。

あとはごみ捨てのポイ捨てが多いので、その監視の強化が欲しい。

発言者 3

戸山公園が自分の居場所になっている。参加した行政のイベントでふれあいフェスタがあった。近くの大学に通っており、休み時間に戸山公園に遊びに行ったり、1人でご飯食べたりして、すごく居心地のいい空間となっている。

また、文化がすごくいろいろあって、林芙美子邸などいろいろな文化的な施設も赴いたこともあるが、そういった新宿区固有の文化も守りつつ、一方で、永山祐子さんが設計された新宿歌舞伎町タワーなど最新の文化なども入り込んでいた、そんな雑多な感じの新宿区がすごく好き。

発言者 4

中央公園がおすすめスポットで、ビルが多い中疲れたときに、中央公園で休んだりしている。

好きなところは、どこの地域からもアクセスがよく、高速バスなども一本で行けるのがすごく魅力的。

嫌いなところは、歌舞伎町や新大久保を中心としてごみが多く、ネズミやハクビシンも多く生息しているところ。

また、異国の何か独特な匂いが少スキツイなと思ったりもする。

発言者 5

おすすめスポットは戸山公園で、保育園が近くにあったので、よく散歩とかで連れて行ってもらったり、地元の子たちともよく遊んでいた。箱根山もすごく子どもにとっては遊びやすく、冒険的な場所があるので、とても印象深い。

好きなところは、緑が多いところ。公園がたくさんあり、新宿御苑は特に整備されて

いるので、みんな過ごしやすく来ているのかなと思う。

あとは、静かだが活気もある場所で、早稲田、高田馬場は活気がありつつ住宅街もあり、新宿にもすぐアクセスできるので、そのバランスがとても良い。

悪いところは、害虫が多いところと、歌舞伎町から新大久保周辺の治安というのは、毎回近くを歩いていてよくないなと思っている。新宿区民以外の方もたくさん来るので仕方ないと思うのが、環境とか衛生面というのも改善があると良い。

発言者 6

思い出のスポットは、須賀神社や花園神社というような、全国的な神社がすごく新宿に実はあるのだと感じたこと。

好きなところとしては、人が多くて活気があるところ。上京して新宿の歌舞伎町を歩いたときに、日本ってまだこんなに活気があるのだなと感じた。

嫌いなところは、逆に人が多過ぎるというところ。あとは自然が多いというイメージがあるが、実は土のところではない舗装された道が多く、つくられた自然が多いなと感じる。

また、待ち合わせ場所とかの滞留する場所が新宿に少ない。待ち合わせするときに時間がかかってしまうことがよくある。

発言者 7

新宿のおすすめは「君の名は」で有名になっていた須賀神社。この間行った際、外国の方も多かったが、うるさ過ぎなくて良い。明治神宮や新宿御苑も整備されていてとても良いと思う。

新宿の好きなところは、飲食店が多く困らないところ。

嫌いなところは騒音で、バイクの音がうるさいところ。マンションの壁の薄さとかもあるかもしれないが、どこを改善するのか気になる。

発言者 8

再開発でなくなってしまったが、郊外に住んでいて小田急線 came ときに初めて降り立った西口では新宿の人の多さに驚いた。西口の小田急のエレベーターホールが昔あったところが思い出の場所。

好きなところは、にぎわいがあって、活気があって、利便性があるところ。

嫌いなところは、ネズミが多く、また私の家の前で2週間に一遍は必ずゴキブリがひっくり返って死んでいるところ。

発言者 9

新宿区の好きな場所は、神楽坂の商店街。中でも神楽坂駅寄りのほう、飯田橋ではな

いほうの神楽坂が好き。自分はあまり人が多いところが好きではないが、その中でも活気があって、神楽坂の商店街はいいなと思っている。神楽坂側が好きなのは、人が少ないところと、高いビルが見えにくいところ。東京を感じるが、ザ・東京というのを感じないところがいいところだと思う。

新宿を散歩していて好きなのは、その地名を聞いたことがないところ。若松河田だったりとか落合だったりというのは、地方の人はあまり聞いたことがないと思う。そういう閑静なところを歩くのは、新宿もこういうところがあるのだなと感じられて良い。

嫌いなところは、高田馬場のロータリーがうるさいなと感じる。ト一横を閉鎖してくれたのだったら、ロータリーも思ってしまう。

発言者 10

戸山公園が想像よりも大きな公園で、毎日お散歩にも行って魅力的。また、子どもの使わなくなったおもちゃを寄附したり、それを無料で使えるところがとてもいいなと感じている。

嫌いなところは、広告トラックがうるさいことと、観光客の方が多いというものもあると思うが、路上喫煙が気になる。煙もそうだが、火も危ないので、もう少し対策していただきたい。

発言者 11

歌舞伎町だったり、三丁目とかゴールデン街とか、いろいろな景色があり、いろいろな特徴を持ったところがぎゅっと詰まっているのがいいところだなと思う。

反対に悪いところは、治安だったり、騒音があるところ。

発言者 12

お気に入りの場所は、西落合の哲学堂公園。そこでいつも小学生が野球をしていて、すごく幸せな気持ちになる。

新宿区の好きなところは、公園とか神社が多いところ。あと犬を散歩している人も多くて幸せな気持ちになる。

直してほしいところは、路上喫煙がやはり多いところと、新宿駅周辺の悪質な声かけやナンパとかが多くて、新宿駅に行くのがちょっと億劫になったり、ちょっとした用事だったら池袋とかに行こうかなとか思ってしまうこと。

また、座るところがなく、カフェなどに行かないと座れないというところが少し不便だと感じる。

発言者 13

利便性がよくて、どこに行くのにも行きやすいという点で新宿駅が好き。

気になる点は、私はバレーボールをやっているが、体育館の開放などがあまり整備されていなくて、思うようにバレーボールができないということ。

発言者 14

新宿区の好きなところは、アクセスがいいところと、繁華街もあるが自然も多く、公園もいろいろあるので、小さい子どもが遊べるところが多いところ。

嫌いなところは、小さい頃は親と一緒に遊べる公園があるが、中高生になると体を動かすスポーツができる施設が少ないところ。新宿スポーツセンターは小さい頃利用していたが、ある時期から大人と外国人の方のトラブルとかでバスケットボールの開放が中止になったりしていたので、そういう中高生とかが体が動かせる施設、開放があればいいなと思う。

発言者 15

新宿区で好きな場所は、戸山公園。大学生のときにサークル活動でダンスの練習をするときに使っていたり、休日にも屋外演劇やフェスなどいろいろなことが開催されていて、すごく面白いなと思う。若い人だけではなくて子連れの方だったり、高齢者の方だったり、いろいろな人が集う場所になっていて良い。

新宿区の好きなところは、まちそれぞれにすごく個性があるところ。例えば、高田馬場・早稲田は学生街だが、落合付近は住宅街で住みやすい印象。特に好きなのは神楽坂エリアで、神楽坂に行くといつも音楽がかかっている独特な雰囲気を感じ、まちで音楽がかかっているところがあまりないなと思っている。それぞれまちに対して個性があるところが面白く、かつ住みやすい場所であるところが良い。

引っかかる部分は、人が多いこと。新大久保も好きだが、休日に限らず平日に行っても、なかなか人が多くて歩きづらくて前に進めなかったりするの、楽しいけれどもストレス。人が多く前に進めないところは、もっと整備されると楽しめる環境になるのかなと思う。

発言者 16

新宿の思い出のスポットは戸山公園。中央図書館で本を借りる際に毎回この公園を通るが、よく子どもたちが遊んでいたりと、犬の散歩をする人がいたり、学生たちがサッカーをしていたりと、東京という都市の中心でこれほど生活感あふれる光景を目にするのがちょっと不思議な気持ちになる。

新宿の好きなところは主に2つ。1つ目は、様々な文化を体験できること。2つ目は、外国人への支援が非常に充実していること。

高田馬場は多くの国から来た留学生が集まっていて、まちを歩いていると様々な言語をよく耳にする。そして、高田馬場や新大久保あたりでは、世界中の料理屋が集まって

いて、中華料理、フランス料理など様々な食文化を楽しむことができる。

そして、新宿区は東京23区の中で特に外国人が多く住む地域としてよく知られており、外国人への支援もとても充実している。新宿区役所では、多言語対応ができるし、職員たちも非常に親切。日本に来たばかりで日本語が十分に話せなくても、日本の社会や文化にまだ慣れていなくても、安心して必要な手続を進めることができる。この点が留学生の中でも評判のよい理由の1つとなっている。

不便だと感じる場所は、新宿駅には約200個の出入り口があり、特に地下に入ると経路が非常に複雑で、Googleマップも地下では正確な位置情報が示されず、人が多い時間帯には歩くことがとても大変になること。

区長

私は生まれ育ったのが大久保エリアで、鬼王神社や皆中稲荷が、受験などいろいろなことがあるとお参りをした、思い出のスポットです。

好きなところは、多様性があり、それで決して他人を侵害しない、そういう風土があるのいいなと思っています。

一方で、さっき何人かの方がおっしゃっていた路上喫煙や、ネズミ、ごみの出し方ですね。これについては、繰り返しお願いしてはいるのですが、毎年4万人ぐらい引っ越しをしているので、次々に新しい方がいらっしゃいます。全戸配布でごみの捨て方をお知らせしていますが、読まずに捨てられてしまうというような状態が続いていまして、悩ましいところだと思っています。情報がきちんと伝わらないところが、私たちの弱点かなというところですよ。

Q3 あなたはどんなまちに住んでみたい？憧れのまちってどこ？

■本テーマで話し合われた意見の要約（以下の文章は生成 AI を利用して要約した。）

新宿区はアクセスの良さや公園の多さが魅力だが、路上喫煙や治安の問題が改善されることを望む声がある。地域の歴史やつながりを大切にし、地元愛のある飲食店や交流の場が増えることが期待されている。充実した支援制度や、自然と便利さが両立する環境が理想とされ、特に若者や高齢者が住みやすいまちを求める意見が多い。にぎやかな商店街やスポーツ環境の充実も重要視されている。全体として、温かさとプライベートのバランスが取れたまちが理想とされている。

■意見交換（概要）

発言者 1

アクセスが良く、繁華街が近く、公園が多い新宿が好きで、これからも新宿区に住み続けたいと思っている。ただ、駅まで行く途中に飲み屋街があり、路上喫煙がとても多く、子連れでとても不快になるので、改善しきれいなまちになってほしい。

発言者 2

歴史に優しいまちがいいと思う。考古学、発掘作業や新宿区の歴史に理解を示す、そういう区民が増えるまちになってほしい。

発言者 3

静岡県の熱海市に住んでいたが、すごくいいまちだなというふうに思って育った。地元、土着愛のあるお店が好きで、新宿にもそのような店はあるが、店主と仲のいい関係性を築けるような飲食店であったり、銭湯のような偶発的にいろいろな方としゃべれるような、そういった場所がどんどん引き継がれていって増えていってほしい。

発言者 4

長野県の安曇野市に住んでみたく、山や川がありとてもすてきだなと思っている。

発言者 5

何歳になっても制度が充実しているまちに住みたい。生活している上で、いつ助けが必要になるかは分からないので、必要になると思う。

中途障害で助けが必要になったり自分の子どもが生まれて障害を持ってしまう可能性もある。人手不足の問題もあるが、制度を充実させることによって、少子高齢化や助け

られる方が増えていくと思う。

発言者 6

にぎやかで活気がある商店街があるまちに住みたい。具体的には曙橋周辺だったり、区外で言うと、品川区の荏原のあたりは商店街が活気づいていて、行くたびに何かお祭りをやっているようなにぎやかさがあるのがとても好き。また、中心の駅だけではなく、地元の駅も発展しているまちがいいと思う。

発言者 7

住んでみたいまちは文京区で、文京区ではバレーボールの開放がとても充実していて、指導員さんがいたりして、誰が行ってもみんなが参加できるような環境が整備されている。そういう場所だと、いろいろな年齢層の方が運動に参加することができ、QOLも上がると思う。

発言者 8

広島に住んでいたが、広島はあまり住んでみたいまちではなくなっている。にぎわいがもう失われているまちだと感じている。にぎわいというのは必ず人を寄せつけ、魅了させるためにすごく大事な部分だと思うので、大事だと感じている。

ただ、その中でも特に洗練されたもの、例えば神戸に住んでみたい。神戸のような、山が近い自然であったり、その土地の地理などを活用し、まちの中ににぎわい創出ができるようなまちにずっと住み続けたいと思う。

発言者 9

新宿区に住み続けたいが、千代田区に住むのもいいかなと思ったことがある。千代田区には親元の近くに住み続けることを支援する助成金の制度がある。私は新宿区に生まれ育って、本当は新宿区に住み続けたいが、家賃が高く、泣く泣く実家を出て、別の区外の場所に住む友人を見たことがある。なので、新宿区に住みたい思いがありつつ、新宿区で生まれ育った人がこれからも住み続けられるような、若手のうちに支援するような、そんな制度があったらいいなと思う。

発言者 10

自分が住むところの近くに自然や公園があるようなまちが理想。具体的には、立川や上野は大きな公園があるので魅力的に感じている。

ただ、仕事もこれから一生していきたいと考えているので、新宿のようにバランスよく自然と繁華街と交通の便もいいようなまちが特に魅力的だと感じる。

発言者 11

商業地と住居系のエリアが混在しているのが新宿のいいところだと思うが、住んでみたいのは、治安のいい住居の近くに、にぎやかな商業地区があるというところ。治安は新宿はよくないと思う。

発言者 12

新宿は新しいものをどんどんつくるようなイメージがあり、自分の家の近くだとパチンコ屋で長年親の世代からあったものが潰れてしまったり、ビルになったり、銭湯もなくなってマンションが建ったりしてどんどん新しいものにしていこうというイメージがある。憧れのまちだと、祐天寺、学芸大とか吉祥寺のような人のつながりが肌で感じられるような場所がある。新しいものをつくりつつも今までの人とのつながりが、風情がある場所が維持されるといいなと思う。

発言者 13

中野区とか練馬区とかの便利で人の温かさもありつつプライベートもある場所に住みたい。人の温かさというのは、道をおばあちゃんに尋ねられたりとか、バス停を聞かれたりとか、ちょっとしたコミュニケーションがとれるけれどもプライベートも確保されているという、ちょうどいい距離感があっていい。

私は山形出身で、山形は車がないとどこにも行けない不便さもありつつ、プライベートはないみたいな感じなので、その辺の温度感がいいなというふうに思う。

発言者 14

アクセスのよさと、地域のつながりがあるところがいいと思う。大学院生で、都電荒川線上にある小台というところを研究対象にしているが、そこが地域のつながりだとか、井戸端会議がいろんなところで行われていたりしていて、多世代の人たちがつながっているイメージがあり、そういう温かい環境のところに住んでみたい。

発言者 15

自然と便利さが両立しているところに住みたい。例えば緑や川があって、散歩やリラックスできる場所がある一方、スーパーや駅が近くて生活に不便を感じないところが理想。

憧れのまちは、例えば鎌倉や長野のような場所。鎌倉は歴史や文化が感じられるまちで、長野は自然が豊かで空気もおいしい。

ただ、新宿もとても魅力的で、都会の便利さがありながら、新宿御苑や公園など自然を感じられる場所もある。

Q4 おじい・おばあになっても住み続けたい！
魅力ある新宿区にするために「あったらいいな、こんなもの」

Q5 行政に期待すること

■本テーマで話し合われた意見の要約（以下の文章は生成 AI を利用して要約した。）

新宿区の魅力を伝えるために、イベント情報をまとめたガイドブックの配布が望まれている。また、福祉に関心を持つ若者を増やすための取組などが求められている。地域の清掃活動やウォーキングイベントを通じて、住民の参加を促すアイデアも提案されている。さらに、災害時の防災知識を大人にも広める必要性や、行政サービスのデジタル化が求められている。若者の投票率向上や、地域の歴史を学ぶ機会の提供も重要視されている。SNS や掲示板を活用した情報発信の強化が提案され、特に若者に親しみやすい内容が求められている。新宿区の魅力を高めるためには、地域のつながりや情報の周知が不可欠である。

■意見交換（概要）

発言者 1

新宿の魅力を伝えるガイドブックみたいなのがポストとかに投函されていたらいいなと思う。新宿駅近辺のデパートとかのイベントとか、「いつにこういうイベントがありますよ」とかというのがまとめられて配布されたらいいなと思う。

発言者 2

今人手不足で困っている事業所や、高齢化によって営業している事業所さんというのを多く耳にしている。

私の経営する事業所では平均年齢が 21.5 歳、30 人以上のアルバイトが働いてくれていて、SNS を通じて若者に障害福祉について興味を持ってもらえるきっかけづくりを行っている。人は必ず福祉に携わるときが訪れると思うので、少しでも若いうちから福祉に携わっていることによって、将来の日本を少しずつ変えられるのかなと考えている。

福祉に関わるきっかけを新宿区が中心として動いていけたらいいと思う。新宿区独自で資格をとる制度などもいいと思う。

その重度障害者の一人暮らしを実現させるために一大プロジェクトも動いていて、実際に新宿区では重度障害者が一人暮らしするという初めての事例が今動いている。重度障害だと今まで新宿区に住んでいたが親御さんが面倒を見切れなくなって地方に飛ばされてしまう方も多く、グループホームも入所制限があったり、重度障害の方はお断りと

いうところも多かったりする。その人に合った支援というのを今後、実現できたらいいと思う。何歳になっても新宿区に住み続けられるように、障害者でも住み続けられるようにできたらいいと思う。

行政に期待することは、私は移動支援をメインでやっているが、独自でガイドヘルパーという資格を無料でとれたり、初任者研修をとれる制度なども充実させてほしい。

発言者 3

小学校のときに、『新宿区の歴史』という教科書を配られたが、これが今も継続されているのかどうか気になる。私はその教科書のおかげで、歴史に興味を持つきっかけになった。歴史嫌いな人や興味ない人が増えているため、そういう本をぜひ続けてほしい。

また、まちにごみが目立つのが気になる。外に出たがらない高齢者に、ウォーキングがてらにごみ拾いのボランティアをしてもらい、景品をつけてご褒美で喜ばせることで、自然と新宿区がきれいになるというような活動をしたいし、私もそれに参加したい。

発言者 4

今、ウォーキングの景品が欲しいという話があったが、既に新宿区では、「SHINJUKU♡しんぽ」という歩数のランキングのアプリの仕組みがあり、面白くて私もやっている。「SHINJUKU♡しんぽ」の取組が、ごみ拾い活動にも発展するという方向性もある。また、アプリ内で新宿区からのお知らせとして、こういう健康イベントがあります、講義あります、体験できますというのがよく流れてきて、面白いな、そういう取組があったのだと思っていつも見ている。そういうアプリ内の通知で新宿区に住んでいる全体の人に周知するのは難しいと思うので、お散歩好きな人にまずは健康の情報をリーチするとか、そういう取組が広がるといいと思う。

発言者 5

今地震や災害が頻発しているので、災害時のために消防知識や防災知識をみんなにマストで教えるような環境があるといい。ボランティアで参加というよりは、小学生だと学校に消防士が来て、消火器の使い方とかを教えると思うが、大人がむしろ知るべきだと思うので、大人が会社とかコミュニティとかで、マストで学べるような環境があるといい。

また、最近ニュースでも詐欺や強盗が増えていて、僕の祖母も実際に被害に遭ってお金をとられた。警察の方が来て、その周辺のエリアで周知されたが、それを特定のエリアだけにとどまらず、毎日平日に小学生が下校するときにまちにアナウンスを流すように、「今こういった強盗が増えているので気をつけてください」と特にお年寄りの方に向

けて周知させるような仕組みができればいいと思う。

発言者 6

体育館を大学のサークルにも一般開放していただきたい。周辺の区だと、団体登録の条件として、在住であること、在勤であることと在学であることというところ、この3つの条件を10人以上満たした団体だと体育館の団体登録ができるという条件になっているが、新宿区だけ、私がざっと調べて使いたいなと思った中で、在住であることと在勤であることという条件まではあるが、在学であることという条件がない。

私は新宿区の大学に通っているが、大学の中でも新宿区に在住している方はとても少なく、自分のサークルで新宿区に団体登録しようとしても現状できず、夜間の小学校の開放であったり、区の資源を利用できないという状況になっている。そのため、活動拠点がどうしても屋外の公園になってしまう状況で、なかなか活動拠点が得られていない。ぜひ新宿区のスポーツも、在学条件を入れていただくとより活動がしやすくなる。

発言者 7

小学校の個人開放に行っている。夜間、3校で開放していると思うが、全部同じ曜日に開放が行われていて、それだと結局行ける場所が1か所しかないので、違うところに行きたいと思っても行けない。また、新宿スポーツセンターでは開放が行われていると思うが、そこでもコート3面張られているだけで、何の指示もないので、結局限られたグループの人が占拠し、勝手にサークルの活動に使ってしまっていることも見受けられるので、それは少しよくないなと思っている。

また、ごみ問題に関して、テロ対策やホームレス問題とかで難しいのは分かるが、ごみ箱を設置して、そこにごみを捨ててもらおうということでポイ捨てを減らすことができるのではないかなと思う。

(司会：ごみ箱を置くと、ごみが増えるような気もするのですけれども、その辺は大丈夫ですか。)

座る場所がなくカフェに入り、結局カフェもいっばいでドリンクを外に持ち出して、それをどこに捨てるのかというので、みんな迷っていると思う。ゴミ箱があったほうが、ポイ捨てはなくなるのではないかなと思う。ただ、それに関して、ごみ箱をどこまで増やすのかとか、ごみ箱を増やしたところで誰が回収するのかとか、そういう点が難しいところだと思うので、そういう協議をしてほしい。

発言者 8

渋谷区から新宿区に引っ越しをしてきた中で不便だなと思うことが幾つかあった。

まず1つ目が、引っ越しの手続等々役所絡みの手続きが、LINEやマイナンバーを

使って自宅から簡単にできたものが、今回新宿に入るに当たっては、わざわざ区役所に行ってやらなければいけないことがすごく多かった。また、明らかに待ち時間が長く感じた。なので、そのあたり、LINEであったりアプリであったり、ウェブで何か対応ができることがあれば、進めていていただきたい。

二つ目が、私は子どもが生まれたばかりで、母と子が集まる役所のサービスみたいなものはあるが、父と子が集まるイベントが少ないように感じた。今は時代的にもお父さんが育休をとっている世帯も増えてきていると思うので、お父さんと子どものみが集まって父と子の交流みたいなのが生まれるような場がもう少しできると良い。

最後に、今共働きをしていて、育児に関わることで区のサービスを使っていきたいと思いついて調べているが、決まった曜日、決まった時間で平日に限られていると、土日が休みの世帯の方は使うことができない。せっかく無料でできる、イベントで集まれるということがあっても一緒に参加できないという現状があるため、月に1回でもいいので、土日開催していただけると助かる。

発言者 9

自分は正直なところ、大学と自宅の往復になっていて、行政のイベントなど区が行っている情報に触れ合う機会がないのが問題かなと思っている。

新宿区は大学や専門学校も多く、若者の層が多いまちなので、大学などの中にもっと入り込み、対外的な情報は大学内の掲示板から取得することが多いので、そういうところに新宿区の取組や、イベントなどが掲示してあると、学生は、情報が得やすいと思う。

発言者 10

おじい・おばあになっても仕事ができたらいいなと思っている。高齢の方が、区のバイトとしてもいいので、先ほど議題に挙がった繁華街のごみ拾いとかを、高齢の方の職業として提供できると良いと思う。

発言者 11

開業した方へのサポートがしっかりされているというのが、今回、私も新宿区で開業して、ほかの経営者にも聞く中で、新宿区はすごく手厚いという情報を得ている。

ホームレスへのサポートとして、情報が知られていないということもあると思うので、例えば紙でこういう申請するとお金がもらえとか、区が何かサポートされると、ホームレスの方は減ってくるのかなと。そういうところ改善してほしい。

開業してみて思ったのは、私もそういう情報を知らず、サポートをしているというのを知らなかった。今、開業している方もたくさんいると思うので、そういう方に向けて、サポートをしていることが、もっと周知されると良い。

発言者 12

新宿駅は交通が非常に便利だが、駅の中が混雑している。特に人が多いときは、方向を見失ってしまうこともよくある。駅構内では各出入り口へのルートをより明確に表示して、道中の目立つ場所に標識などを増設することができれば、さらに便利になるのではないかなと思う。

今後ますます重要になるのは、外国人に対する医療福祉のサポートだと思う。外国人は観光や留学などで増加しているが、滞在中に様々な事態が起こり得る。例えば、病気やけがをしたとき、どのように病院に行けばよいか分からなかったり、電話で症状を正確に伝えられなかったりすることがよくある。もし、具体的で実用的な支援が提供されれば、さらに便利になるのではないかな。

例えば、住んでいるところの近くにある病院やクリニックの位置や診療時間などの情報、そして受診が必要なときの手続の流れや、多言語対応のパンフレットなどが配布されていれば、より便利になる。

発言者 13

待ち合わせ場所など、滞留する場所が分かりにくい。ベンチなどの休める場所が少なく、カフェに入れなからほかのところで休み、結局ごみを捨てることになる。

健康づくりのウォーキングマップのモデルコースに休憩できる場所やベンチを記載していただくと、ウォーキングもしやすいし、「こういうところで休むことができるんだ」と新宿区のまち巡りとか、外出がしやすくなると思う。高齢者の方も多いので助かると思う。

また、10月ぐらいに防災グッズを配布していただきすごくありがたかった。携帯トイレはよいと思うが、おにぎりがつくれるアルファ食品が入っていてそれもありがたかったが、すぐ食べてしまう人もいて、2個しかなかったため、防災グッズの啓発としては良いかもしれないが1年後とかに起きたときにあまり意味がないなと思った。食料よりも、ホイッスルであったり、温かいアルミのシートなどの方が、今後、配布する機会があれば、災害時に活用できるかと思った。

あとは、地下街の通路が工事しており天井が低いなと感じるところがあるので、もうちょっと高くしていただけたら、外国の背の高い方や、日本人でも使いやすいく閉塞感なく使えるかと思う。

発言者 14

私は趣味で新宿区の歴史や昔のまちの名前を調べるのが好きなのですが、私が住んでいる諏訪町など、昔の地名を調べる資料が少ない。パンフレットでも、内藤新宿のあた

りの歴史について書いているものは多くあるが、昔の地名が分かるようなマップがあると嬉しい。町内会も、何町会とか何まち会という感じで分かれているが、それがどういう分布になっているかが分かりにくい。昔の地名や、町内会で使われているまちの名前が分かると、愛着が持てて嬉しい。

発言者 15

新宿区にもっと誇りを持てるまちになることを期待しているので、既に取り組まれている繁華街でのごみ対策を拡充していただきたい。そういったことが、新宿区が掲げている多文化共生にもつながると思う。

高田馬場近辺に多国籍のレストランがどんどん増えてきている。そういうお店で提供されるものを食べてお腹を壊したというのが、自分の体質が合っていなかったのか、衛生管理がどうだったのかと、いろいろな観点があるかと思うが、そういうお店への指導をもっと徹底していただきたい。

また、働く人をもっと応援する仕組みも整ったらいいなと思っており、私は日中働きながら夜は大学院に行く生活をしていて、あまり時間がないが、その中で新宿区のスポーツセンターに行ったり、図書館に行ったりもしたい気持ちもあり、税金を納めて提供されているサービスをきちんと受けて、働く若者世代の利用しやすさが、高齢者や子どもだけでなく、もっと広がっていくといいなと思う。そうして、もっともっと税金を納めていきたい。

そういった制度も広く開かれていくものと、所得制限が設けられている制度と様々あると思うが、その制限の引き上げを含めて期待している。

発言者 16

新宿区はとても便利だが、将来おじいさん、おばあさんになっても住み続けたいと思うためには、もっと高齢者に優しいまちにする必要があると思う。

例えば、地域の中にもっと高齢者が気軽に集まって話せる場所を増やすことが大切だと思う。おしゃべりカフェやふれあいサロンのような場所があれば、孤独を感じることなく、ほかの人と交流することができ、心にも安らぎが生まれると思う。

行政には高齢者が安心して暮らせるよう、近所で無料や低価格で参加できるイベントや、話したいときに相談できる窓口をもっと増やしてほしい。高齢者の声を聞ける仕組みがあると、新宿区の魅力はさらに高まると思う。

発言者 17

落合付近は坂がすごく多いなという印象があり、自分が高齢者になったときに、この坂を上って買物をしたり、自宅まで行くのはすごく大変なことだと思った。そこに対策や支援があると、自分が高齢者になった立場で考えると嬉しいと思う。

いろいろなイベントや、地域の人が交流する機会が設けられていること、公式LINEが最近できて通知プッシュができるようになったことなど、今日参加して初めて知ることが多かった一方で、普段生活していると、なかなか情報が届いてこない。困っていて自ら主体的に動こうと思う人には情報が届く一方で、何気なく普段生活していると情報が届かないという一面があると思う。大学に積極的に情報を流すとか、今回であれば、この情報をポストにチラシが入っていて知ったので、せっかくいいサービスや、機会がたくさんあるなということを知れたからこそ、届けるところに工夫があると、もっと新宿区民としても、そういうサービスを活用できると思った。

発言者 18

選挙のアルバイトをしたときに、若者の投票に来る人が少ないと思った。若者は選挙があることを知らない人ももしかしたらいたかもしれない。そういった人たちへの認知活動として、小学生などに選挙ポスターコンクールなどをしてもらい、優勝したものをチラシにしてポストに投函したり、まちに貼り出したりして、若者の投票を促すということをしてほしい。

自分がもし高齢者になったとしても、若者の意見は優先されてほしいし、若者の意見がちゃんと通る社会であってほしいと思うので、投票できる機会を生かせるようなまちづくりをしてほしい。

行政に期待することは、物価高は区ではどうにもできないと思うので、給付金などをうまく活用して、今、不便を感じている人にも住みやすいまちにしてほしい。

発言者 19

新宿区で、公立小学校のほとんどは、ほぼ義務的に選挙の絵を描くことになっていて、私もそれをやった。選挙への関心は小学校のうちからやっているのでは効果はあると思う。

新宿区の若者は移動が激しいために、新宿区に土着的なものがなく、若者の投票率が低いのかなというのが私の予想。

ベンチのことだが、新宿区はベンチを撤去した理由として、ホームレスの方がベンチを占拠してしまうことを目撃したこともあり、ベンチの設置はこれからは厳しいのではないかなと思う。

発言者 20

私は義務教育が終わってからこちらに引っ越してきたので、新宿区の（歴史の）教科書を手にとれる場所があるかどうか教えていただきたい。

（補足）社会科副読本について、有償刊行物として入手可能であることをオンラインチャットで共有した。

発言者 21

今回この会の存在を知ったのもポスティングだったので、ポスティングは一定の効果があると思う。

大学とかの掲示板や、町なかに貼ってあるのも、ふとしたときに目にすることがあるので、掲示板の活用も要るかと思う。掲示板を活用してからポスティングのほうがいい。

発言者 22

SNSで発信してもらっても、正直あまり興味がなく、「新宿区公式」と言われても、そこまで興味を持って、「よし、フォローしよう」となる人は少ないと思うので、ポスティングには一定の効果があると思う。

発言者 23

宣伝の部分だが、区民にもっと興味を持ってもらうためには、もっとSNSに力を入れたらいいと思う。SNSの力の入れ方も、今どきなショート動画をつくるとか、区の職員が面白おかしく何かを説明する動画を上げたりなど。堅苦しいと若者はなかなか見なかったり、興味関心がなかったりするるので、若者にも刺さるような動画をつくっていったら、もっとリーチ層は増えていくのではないかと思う。

今TikTokがユーザーも多いので、TikTokを使ってショート動画、例えばダンスをするような動画など。区の職員がそういうことをしていたら、堅苦しいイメージというのも崩れて、接しやすい、親しみやすいと感じる。

発言者 24

新宿区のSNSに関して、今、公式のXが「新宿区区政情報課」と課の名前とか、ほかはいろいろ消費生活センターとかあると思うが、これだと何を発信しているのかがいまいちよく分からない。もうちょっと簡潔に「新宿区公式」とかで出したほうが、「新宿区の情報だ」と分かるので、そういう情報の出し方をしたほうが目につくかと思う。

今、Xで試しに調べてみて、「新宿区」と打ってユーザーの欄を調べたら、新宿区の情報課が全然上に出てこず、区議会議員の方とかの情報しか出てこなかった。そういうところで、情報を得ようと思っても、なかなか得づらい状況があるかと思った。

会議のまとめ

区長からのコメント（全体を通じて）

共通して言えるのは、やはり情報発信が弱いということだと思っています。これまでも、この若者会議でどうやったら情報を知ってもらえるだろうかという話をしてきました。ポスティングやSNSの話がありましたが、ポスティングでは、2年に1回全戸配布する「くらしのガイド」があります。防災情報や観光情報、区のあらゆるサービスが索引のようになっているものですが、全戸配布すると、大量に、「こんな紙の無駄をやめてください。ペーパーレスの時代です」というお叱りが多く来ます。一方で、それでない伝わらない年代層の方々もいらっしゃるので、毎回悩みながら情報発信をしています。

LINEや二次元コードの活用もこの若者会議で提案があって導入しましたが、そういったものがもう少しうまく告知ができればと思います。先ほども「もっと面白くしたほうがいいのではないか」という提案をいただきました。今年度の途中から「広報新宿」を民間の方に制作していただくよう、刷新しました。これまでも何年か前にそういう取組をしてきましたが、今後も時代がどんどん変わっていきますので、どういう情報発信が一番皆様に伝わりやすいのかということを考えていきたいと思っています。

また、歴史に興味がある方が、何人かいらっしゃいました。私がよく使う図面で新宿区成立70周年記念誌『新宿彩物語』があります。これは、江戸時代、明治時代、それから戦前ぐらいのトレース紙で今の地図と重ね合わせができ、町名や昔の道がどうなっていたかとか、そういうのが素通しで分かるようなセットも入っています。図書館にも置いてありますし、区役所に来ても見ることができると思いますので、ぜひご活用いただければと思います。

あと、私は新宿の区立学校を出ていますが、そのときも社会科副読本が小学校でも中学校でもあり、その中で新宿の歴史が触れられていたかなと思います。うちの子ももう大学生になってしまいましたので、その子が通っていた頃もあったような気がするのですが、あまり子どもの教育に関心を持っていなかった悪い大人なので、そこは家へ帰って確認してみたいと思います。

そのほか、ベンチの話がありました。あとホームレスの話ですね。ホームレスの人の中には、基本的に行政機関に対して心を閉ざしている方もいますので、時間をかけて会話ができる状態に持っていけるまで繰り返し働きかけをしています。

その中で今、支援団体の人と連携して支援に取り組んでいて伝わってくるのは、ホームレスの方も決して雨露しのげないところで、ベンチの上で一晩中過ごしたいわけではないということです。新宿の場合は、昼間ホームレスの方がベンチをずっと占有していると、近所の人から「怖くて公園に行けない」という苦情が来るのですが、私たちは基

本的に追い出しはしないので、声かけをして、「ちょっと健康のチェックのために病院に行きませんか」とか「福祉の支援を利用しませんか」とか声をかけながら、だんだん心をほぐしていった減っていくと。そのかわり、新しい人がすぐ来るのです。どうしても新宿というのは人が集まる場所で、家出少年少女などにもT i k T o kとかネットでどんどん知られて集まってきてしまい、2、3か月ごとにもうメンバーが違うということもあります。

そういう状況が絶えず繰り返されているのが新宿というまちで、私たちはそれを追いつ出すことはせずに、どうやったら犯罪に巻き込まれないで済むかというふうな、そういう関わり方をしてきています。そういうことをやりながら、何とかやっていければなと思います。

スポーツセンターや、テニスコートを、慣れている人たちがうまく名前を使い分けて、繰り返し場所をとってしまったりしたり、常連さんが我が物顔でずっと使っているなど、そこは先ほどご指摘いただいたのでよく見ていきたいと思います。

「しんじゅくシティウォーク」というのをこの間実施したのですが、そのときに、ごみ拾いしながら、最後にちょっと記念品がもらえるという、そういうイベントも併せてやりました。ごみを持ってきていただいたら自動的に景品を渡すということになると、どこから持ってきてしまうか分からないというのもありますので、イベントの形で、きちんと管理した中でできたらなと思っております。

高齢者の方は、マンションの自治会の部屋を開放してくれているところですか、区営住宅の会議室の部屋、都営住宅の部屋もそうですし、区には30か所以上、高齢者の方が集まれる場所もつくってありますので、そこで日々活動してもらっています。

その他、無料で参加できる輪投げですとかグラウンドゴルフ、参加費をとるところでも数百円で、そういうことが新宿中で平日・休みを問わず、絶えず開催されていますので、そういった情報の告知もうまくできたらなと思います。

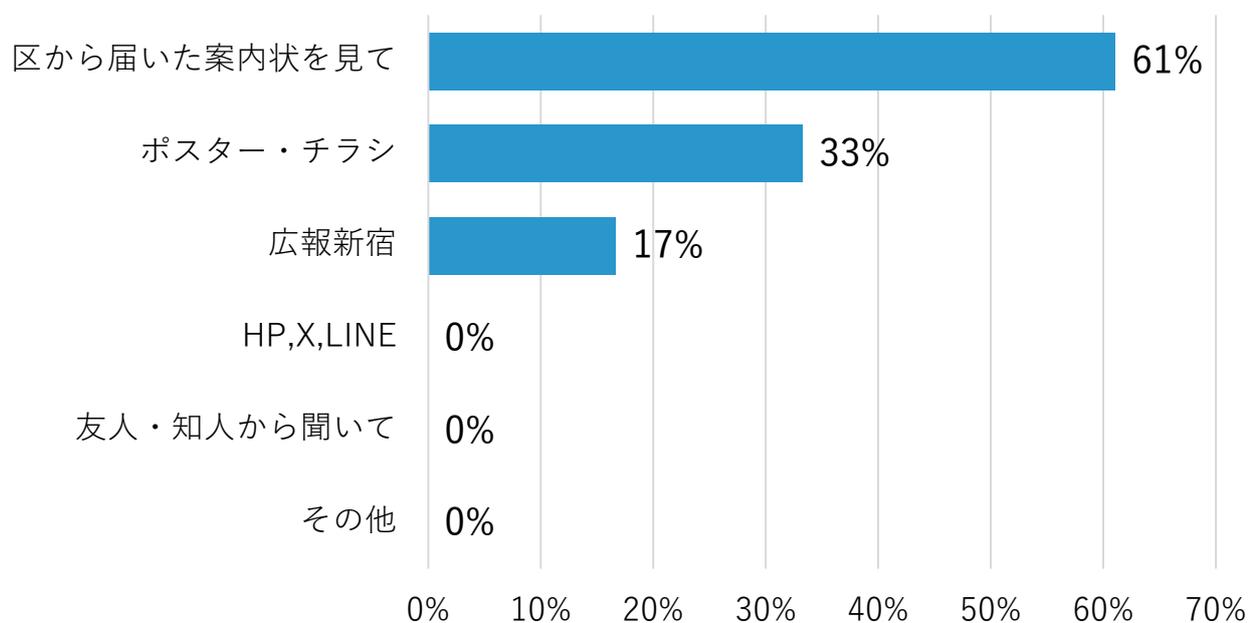
閉会時の記念撮影の様子



VI 参加者アンケート結果

若者 Web 会議を知ったきっかけ

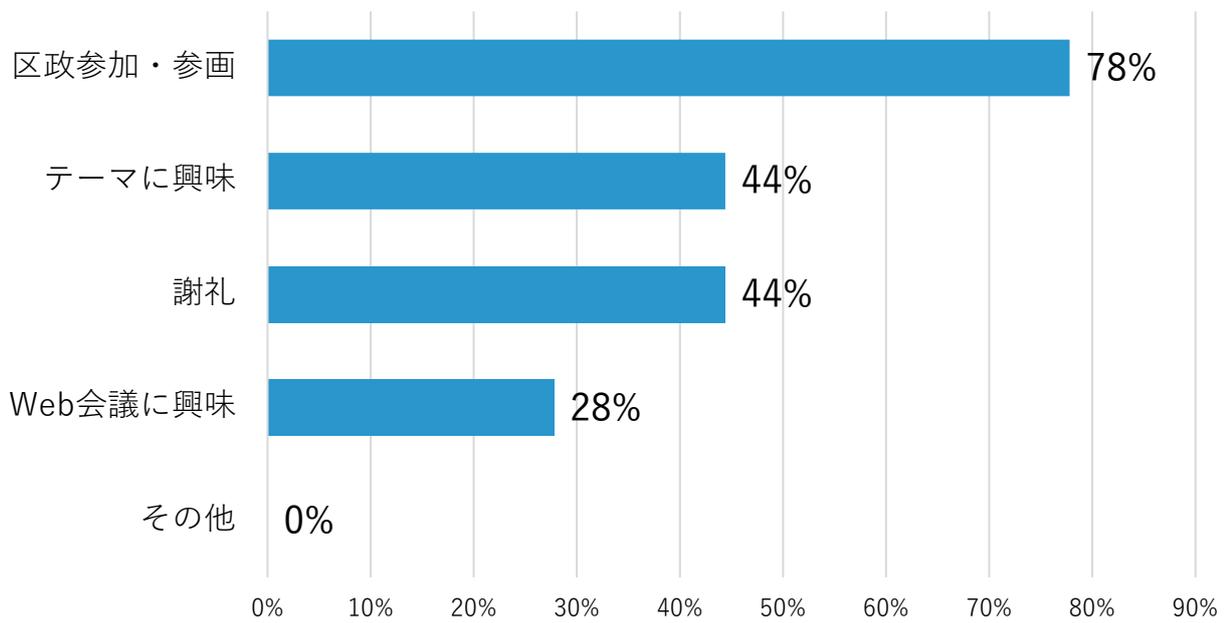
問1 今回の若者 Web 会議を何で知りましたか。(複数選択可)



1	広報新宿	17%
2	HP,X,LINE	0%
3	区から届いた案内状を見て	61%
4	ポスター・チラシ	33%
5	友人・知人から聞いて	0%
6	その他	0%

参加した理由

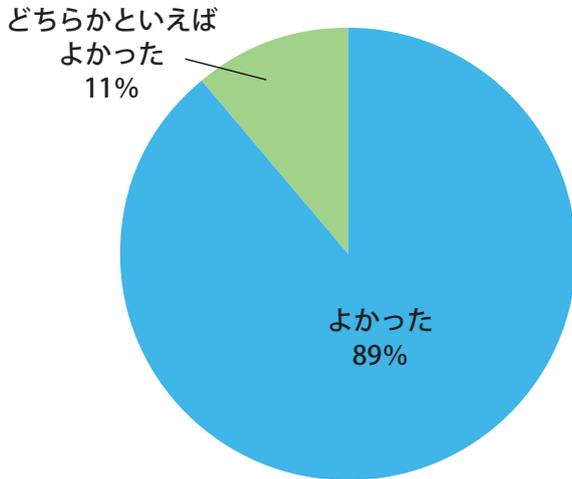
問2 若者 Web 会議に参加を決めた、主な理由は何ですか。(複数選択可)



1	テーマに興味	44%
2	Web 会議に興味	28%
3	謝礼	44%
4	区政参加・参画	78%
5	その他	0%

参加の感想

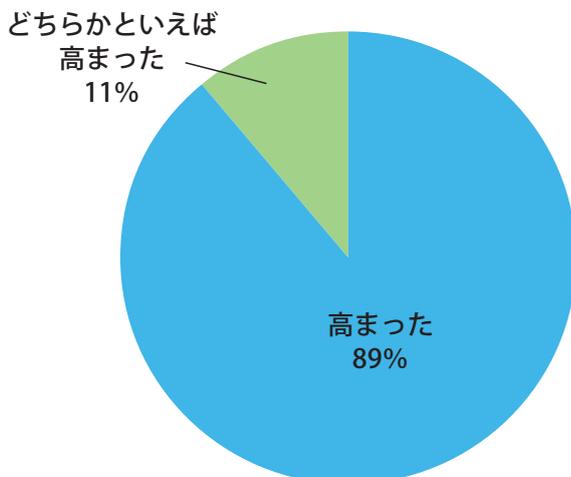
問3 若者 Web 会議に参加されて、ご自身の感想としていかがでしたか。(○は1つ)



1	よかった	89%
2	どちらかといえばよかった	11%
3	どちらかといえばよくなかった	0%
4	よくなかった	0%
5	どちらでもない	0%
6	その他	0%

区政への関心

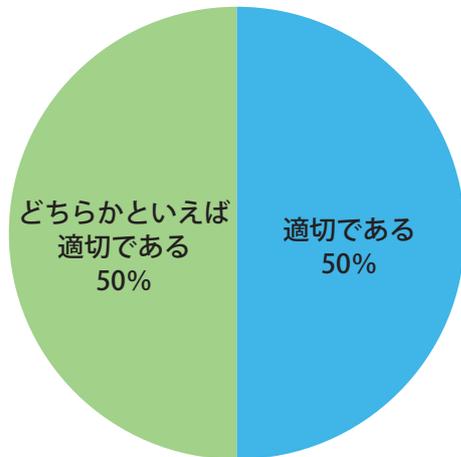
問4 若者 Web 会議に参加されて、新宿区政への関心は高まりましたか。(○は1つ)



1	高まった	89%
2	どちらかといえば高まった	11%
3	どちらかといえば高まらなかった	0%
4	高まらなかった	0%
5	どちらでもない	0%
6	その他	0%

進め方や時間配分

問5 本日の若者 Web 会議の進め方や時間配分は、適切でしたか。(○は1つ)



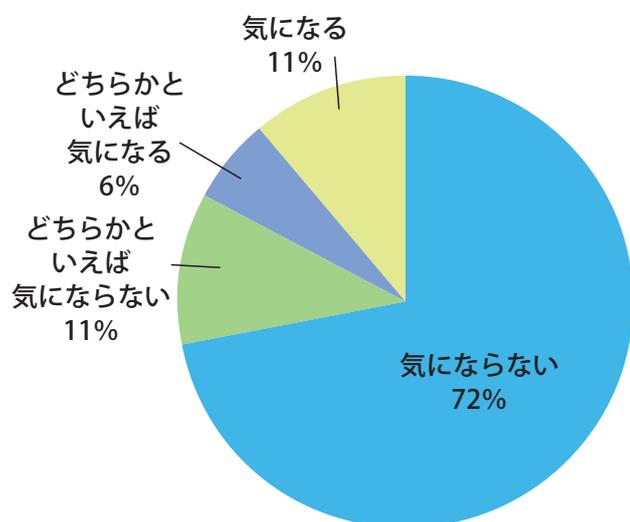
1 適切である	50%
2 どちらかといえば適切である	50%
3 どちらかといえば適切でない	0%
4 適切でない	0%
5 どちらでもない	0%
6 その他	0%

問5-1 若者 Web 会議の進め方について（主な意見）

- 一人ひとりの話す時間が増えるように、もう少し長い会議であるとよい。
- 参加者の様々な意見が聞けるのが有意義である。
- 定刻通りに終了し、時間配分がよい進行だった。
- Web 会議の投票機能の活用も考えられる。
- 活発に意見交換がなされていて、とても興味深いものであった。
- 若者の声を区政に反映させるため、意見を発言する場として、このような会議は非常に意義がある。
- 人数が多く、ディスカッションできないタイミングもあったので工夫が必要。

傍聴者の有無についての意向

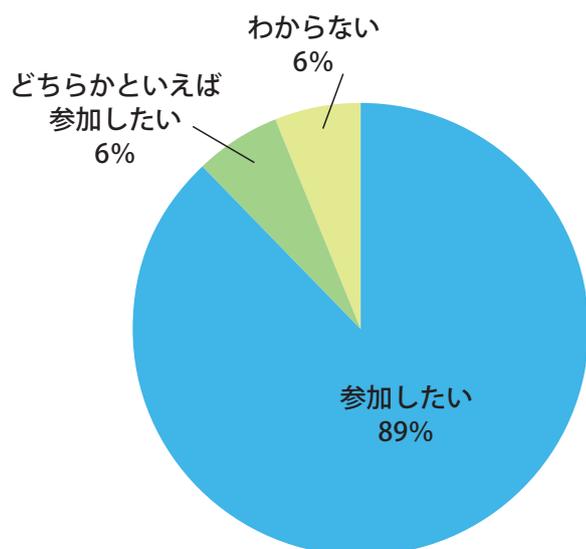
問6 今後、若者 Web 会議に傍聴者がいた場合、意見交換や発表の際に気になると思いますか。(○は1つ)



1	気にならない	72%
2	どちらかといえば気にならない	11%
3	どちらかといえば気になる	6%
4	気になる	11%
5	わからない	0%
6	その他	0%

来年度の参加意向

問7 来年度以降も若者 Web 会議に参加してみたいと思いますか。(○は1つ)



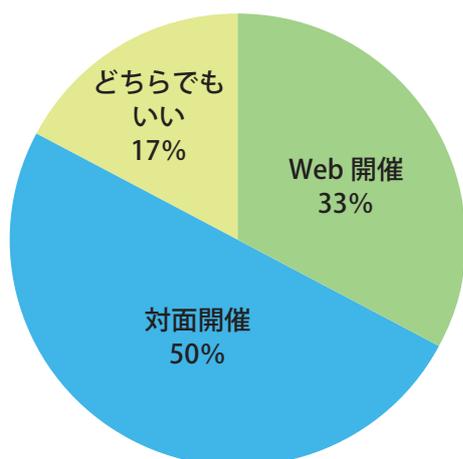
1	参加したい	89%
2	どちらかといえば参加したい	6%
3	どちらかといえば参加したくない	0%
4	参加したくない	0%
5	わからない	6%
6	その他	0%

問7-1 来年度以降の開催についての自由意見（主な意見）

- 外国人の方の参加があり、新しい視点での話が聞けたのがよい。
- 外国籍の方の意見は聞いてみたい。
- 意見交換が活発に行われるとよい。
- テーマの被りがあり、当日調整があったため工夫が必要と思う。
- 最初に発言した意見に引きずられてしまう点もあったため、テーマへの事前回答でもいいのかと思った。
- 自分の発言が区政にどう影響したのか知る機会が欲しい。

開催方法の希望

問8 今後、若者会議を開催するにあたり、Web開催と対面開催のどちらが好ましいですか。（○は1つ）



1 Web開催	33%
2 対面開催	50%
3 どちらでもいい	17%
4 わからない	0%
5 その他	0%

自由意見

問9 今回の会議の中で、伝えきれなかったご意見や、その他お気づきのことがございましたら、ご自由にお書き下さい。(主な意見)

- 24年間新宿区に住んでいるが、空気やごみなど、少し暮らしにくくなってきたかなと思う。タバコの分煙はよくなったと思う。早稲田通りの古本屋の減少に歯止めをかけて欲しい。
- 新宿区の知らない情報が知れて本当に有意義なものだった。
- 新宿区の公式Xは、現在の「新宿区区政情報課」というアカウント名よりも「新宿区 公式」などとして、プロフィール欄に新宿区区政情報課が発信している、などと記載したほうがアカウントが目に入る。
- 様々な意見を聞くことができ、区長とコミュニケーションもできて、とても楽しく興味深い機会だった。子育て支援はだいぶ拡充されてきたので、次は、子育て予備軍の新婚夫婦支援を千代田区のように拡充してほしい。
- 夫婦のダブルインカムでせっかく稼いでも、税金を納めるだけで、公共サービスには所得制限に引っかかって享受できないケースが多いのも残念なので、夫婦フルタイム共働きサポートと言う意味で、提供サービスの所得制限も一定まで引き上げてほしい。
- 生まれ育ちが新宿区で、新宿区のことを好きで、よく理解しているつもりだったが、参加して新宿区の活動や抱える課題がもっと奥深いことがわかった。今後もより良い新宿区の実現に貢献したい。
- 障害に対する支援が手厚く感謝している。
- 体育館開放の件は、ぜひ検討していただきたい。
- 銭湯や土着的な老舗や飲食店の支援を行ってほしい。新たな事業の支援も大切だが、新宿から去りゆく文化が少しでもなくなるようにしてほしい。
- ガイドヘルパーの研修や初任者研修の資格を取れるのを日程が合わない人もたくさんいるので区が定期的に開催してほしい。利用したくても利用できなくて困ってる方がたくさんいる状況なのでこの状況をどうにかしたい。実際に文京区では無料で行ったりもしている。
- 宣伝カーを使用した周知もいいか思った。
- ベンチの設置は進めて欲しいと思った。公共のトイレも有料でも良いので増やして欲しいと思った。
- 改善に向けて動いているから、今の新宿区が作られてるのだなと思った。一年程前から住んでいて治安が悪いと思ったことはほとんどない。トラックの騒音が不快なことはあるが、新宿はとても好きなまち。

令和 6 年度

しんじゅく若者 Web 会議実施結果報告書

令和 7 年 3 月発行

<編集・発行>

新宿区総合政策部区政情報課広聴係

新宿区歌舞伎町 1 - 4 - 1

電話(03)5273-4065 (直通)

印刷物作成番号

2024 - 33 - 2106